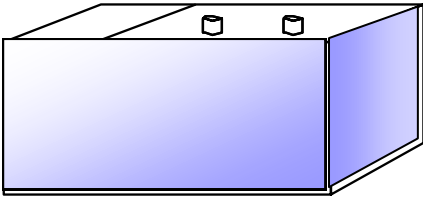


取扱説明書

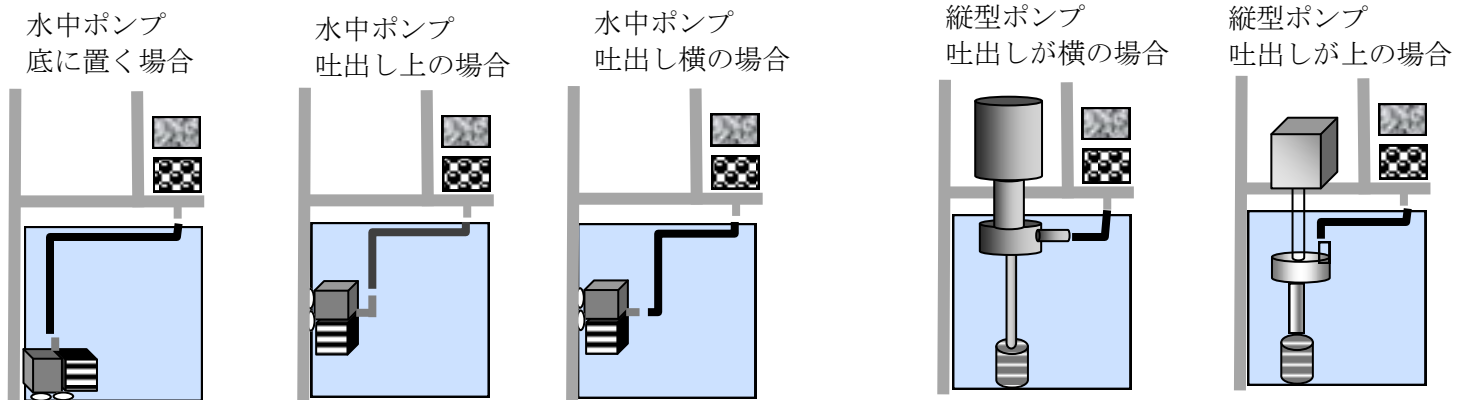
本日は、当日海センター オリジナル上部ロングろ過槽をお買い上げ頂き誠に有り難うございました。
末長くお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
なお、お読みになられたあとも、大切に保存されますようお願いいたします。

-特長- 日海センターオリジナル上部ロングろ過槽は上部ろ過槽でありながら下置ろ過槽に負けない強力なるろ過を実現、これにより水槽内飼育水の透明度は勿論のこと、限りなく自然環境に近い水質を造り出します。



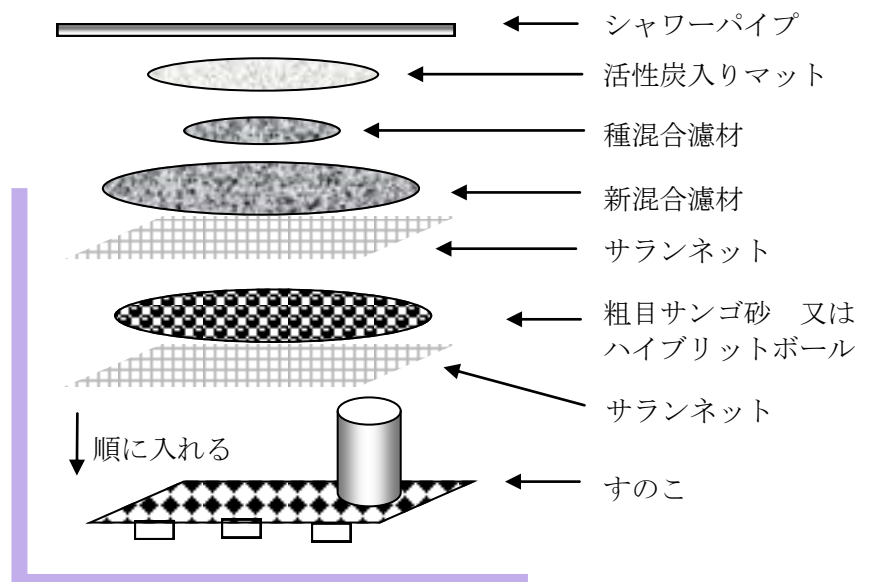
< 1 > ろ過槽のセット方法について

- (1) まずろ過槽本体（保護シートをはがしてから）、各部品及び、付属品（但ろ過材 混合ろ過材、活性炭を除く）をよく水洗いしてほこり、バリ（切屑）などを落とします。
- (2) ろ過槽本体を、水槽の上、背面にセットします。（右上図参考）
- (3) ろ過槽に揚水ポンプを接続します。お使いになる予定の揚水ポンプのタイプによって、ジョイント及びジョイント方法が異なります。（下図参考）



- (4) ろ過槽内にスノコから順番に各部品を入れます。活性炭は洗ってから使用してください。

洗いは”メンテナンスについて”の”活性炭の交換について”を参考にしてください



- (5) ろ過槽にバクテリア（商品名' スーパーバイオ'）を下記の手順で入れます。
 まず、揚水ポンプの電源を入れてろ過槽に水をはります。一旦、電源を抜き水の循環を止めます。
 スーパーバイオを活性炭を避け直接ろ過材に流し入れて、そのまま2~3分待ちます。
- (6) 揚水ポンプを循環させます。この時水槽の水が濁りますが、数時間で透明に戻ります。

<3>ろ過槽のメンテナンスについて

--活性炭のメンテナンスについて--

活性炭は2~4週間に一度、新しいものと交換します。新しい活性炭は洗ってから使用します。
 洗い方は下記を参考にしてください。交換方法は下記を参考にしてください。

--活性炭の洗い方について--

まず、バケツか洗面器の様なものに水道水（中和剤はいりません）をはります。活性炭をビニール袋から出しその水につけて2~3回軽く（きつくゴシゴシ洗わない）もみ洗いします。黒い水が出てきましたら一旦活性炭を水から取り出して、水をよく振り切ります。もう一度、水道水を新しくはりなおして、この作業を繰り返します。

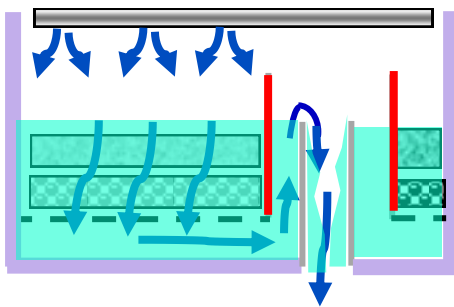
--活性炭の交換方法について--

活性炭は洗ってから使用します。洗い方は上記の”活性炭の洗い方について”を参考にしてください。
 活性炭を交換するときは循環ポンプを一旦止めます。シャワーパイプを抜き、古い活性炭を取ります。
 新しい活性炭を古い活性炭のあった場所（出来るだけ同じ場所が望ましい）に置きます。
 シャワーパイプを戻し、循環ポンプの電源を入れます。

--ろ過材のメンテナンスについて--

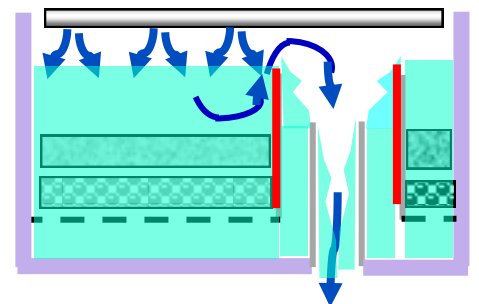
常時飼育されている生物の大きさ、数、あるいは餌のあげ方、あげる量等のさまざまな条件に伴い、ろ過材のメンテナンス時期は一概にはいえませんが、下記を参考にろ過材のオーバーホールを行いましょう。
 オーバーホール方法は、その時期が来ましたら店員にお訪ねください。

- 90cm水槽以上のクラス-- 6ヶ月~1年以内
- 75cm水槽以下のクラス-- 4~5ヶ月延ばしても半年



通常 水の流れは左図のように流れ、濾過槽水位は濾材のすぐ上です

濾過槽が詰まってくると、右図のように、赤いラインの上から水が溢れ、水槽へ戻っていきます。この場合、メンテナンス時期では無くても、濾過槽メンテナンスを行ってください



--警告--

- *ろ過槽を移動するとき、ろ過材、水等をはったまま持ち上げたり移動させないでください。
 本体が歪み漏水する恐れがあります。
- *ストーブやヤカンなど熱いものを、ろ過槽に近づけないでください。
 ろ過槽をシンナーやその他薬品で拭いたりしないでください。
 熱や薬品により変形、ひび割れ、漏水する恐れがあります。
- *ろ過槽にご自分で穴を開けたり、加工を加えないでください。
 本体の強度が低下し、破損、漏水の恐れがあります。
- *セット場所は直射日光が当たらない所にして下さい。
 直射日光が当たりますと紫外線によりろ過槽は劣化、ひび割れ漏水する恐れがあります。

